

災害事例ID		1985-06-30_ND1985001_Rxxxxx_JP14205-014006-13			範囲精度 *2 A	
現在の自治体名*1		神奈川県 藤沢市 (地方公共団体コード : JP14205) 代表点座標 : 35.33894, 139.491116				
災害名称		気象庁: *梅雨前線豪雨及び台風第6号				
災害の種類		風水害 (洪水, 台風)				
自然現象	風水害	気象現象: 台風8506号 最大風速: 30.3 m/s (昭和60年7月1日 3:43) 期間降水量: 177 mm, 地点: 南消防署 (昭和60年6月30日 0:00 ~ 昭和60年7月1日 6:00)				
発生時期	発生日	1985年6月30日 (昭和60年6月30日)				
	災害の継続期間	1985年6月30日 (昭和60) ~ 1985年7月1日 (昭和60) (発生期間)				
被害詳細	建物被害	住家被害	半壊	2 棟	一部損壊	
		非住家被害		48 棟		
		浸水被害	床上浸水	5 棟	床下浸水	
出典資料		藤沢市消防本部 (2009) : 消防年報 2009年(平成21年)版, p114.				

*1: 2013 (平成25) 年1月1日時点

災害事例ID		1985-06-30_ND1985001_Rxxxxx_JP14205-014006-13
風 水 害	気象現象	台風8506号
	最大風速	30.3 m/s (昭和60年7月1日 3:43)
	期間降水量	177 mm, 地点:南消防署 (昭和60年6月30日 0:00 ~ 昭和60年7月1日 6:00)

*2：範囲精度の解説

範囲精度	事例の地理的な範囲の用例	事例範囲のイメージ
A	事例レコードの地理的範囲と災害統計値の集計エリアとが同一。	
B	事例レコードの地理的範囲(現在のA市)は、災害発生当時の旧市町村エリアよりも大きいため、実際には災害が発生していない地域も含む。	
C	出典資料に事例レコードの地理的範囲に関する記述が無く、正確な範囲が不明。(例:非常に古い灾害、河川の流域)	
D	事例レコードおよびその周辺地域(隣接自治体までの範囲)を含む範囲で、かつ、事例レコードの範囲に関する情報を抽出できない。この場合、事例レコード内での被害状況は事実よりも過剰な記述となる。	
E	事例レコードを含む広域(郡、県、山麓レベル)の範囲で、かつ、事例レコードの範囲に関する情報を抽出できない。	県・地方単位